

B-2

自然談話において焦点呼応はいつ現れるか？－琉球沖永良部国頭方言の場合－

横山晶子（日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

【要旨】

本発表は北琉球沖永良部国頭方言の自然談話資料において、焦点助詞、および動詞の「結び形」（焦点に呼応する活用と考えられてきた形式）が現れる頻度と環境を分析する。まず、焦点助詞= ga ,= du と、「結び形」- ru が現れる用例を索引し、一方が他方の出現を統御する呼応関係にないことを述べる。次いで、それぞれの形式が出現する環境を、(a)文タイプ、(b)節タイプ、(c)焦点タイプに着目して整理し、= ga は(a) 疑問詞疑問文、(b)主節、(c) WH 焦点の環境で、= du は (a)平叙文／非疑問詞疑問文、(b) 節制限なし、(c) 情報焦点／対比焦点の環境で、- ru は(a) 疑問詞疑問文／平叙文、(b) 主節／引用節、(c) 対比焦点／WH 焦点の環境で出現しやすいことを述べる。これまで焦点呼応とされてきた現象は、それぞれの焦点助詞と結び形の出現環境が重なった時に起きたものであると考える。

1. 先行研究と本発表の位置づけ

琉球諸語においては、焦点助詞と特定の文末形式（以下、結び形と呼ぶ）が共起する現象が知られており、日本語古典語の「係り結び」と関連するものとして研究されてきた。内間（1985）は焦点助詞に特定の文末形式が呼応することを基本とし、こうした共起が起きない用例や方言を「かかりの弱まり」と捉えた。これに対し、かりまた（2011）や林（2018）は、焦点助詞と「結び形」は独立しており、それぞれがモダリティーや情報構造を指定する機能を持つと主張している。

それでは、焦点助詞と結び形がどのような環境で現れるかについて、先行研究では「文タイプ」、「モード・モダリティ」、「情報構造」、「とりたて」との関連が指摘されてきた。文タイプについては、焦点助詞が特定の文タイプを指定・または制限する方言が報告されている（占部 2019、衣畑 2020）。モード・モダリティについては、焦点助詞が特定の述語形式と共起しない方言（Shimoji 2011）や、焦点助詞が主節述語に一定のモードを要求する方言（林 2019）が報告されている。情報構造については、琉球諸方言に共通して、焦点タイプと焦点ドメインが焦点助詞 du の出現に影響することが明らかになっている（Shimoji 2018）。また、林（2018）は結び形と焦点ドメインの関係について指摘している。

国頭方言については、横山（2017）で焦点助詞 du の出現条件を議論したが、そこで分析対象にしたデータは、主に elicitation によって得られたもので、焦点助詞・結び形の多様な分布の実態については捉えきれていない。本発表では自然談話資料における焦点助詞、結び形の出現環境を洗い出し、それぞれが出現しやすい環境について整理したい。

2. 調査方言と、これまでに分かっていること

北琉球沖永良部国頭方言（鹿児島県奄美群島沖永良部島国頭集落：図 1 で話されている言葉）を対象とする。

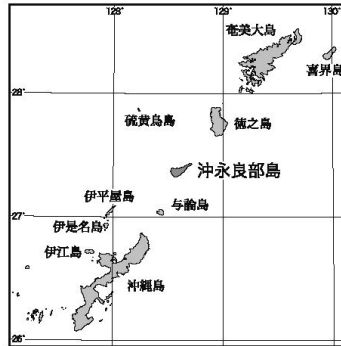


図 1. 沖永良部島の位置

国頭方言には 2 つの焦点助詞=ga, =du があり、=ga は疑問詞疑問文(1)に、=du は肯否疑問文(2)や平叙文(3)に現れる (横山 2017)。内間 (1985)、平山 (1986) などの先行研究では=ga は-ra という動詞の活用形と共起するとされるが¹、筆者の調査の範囲では=ga と共起する-ra 形は見つかっていない。平山 (1986) は「普通、du は結び形-ru²と呼応するが、かからないこともある」と述べているが、現在のデータでは du は-ru と共起しないことの方が多い (横山 2017)。

- (1) seeicjirooga ojazjiwa nuudiga Juuru?
 seeicjiroo=ga ojazji=wa nuu=di=ga i-ju-ru
 セイイチロウ=GEN³ 親父=TOP 何=QT=FOC2 言う-NPST-MSB
 セイイチロウの親父は何という？
- (2) nazjima=ga jaa=nu cjika-sa=ni=du wakidasaN-taa u-radanat-e-e?
 名島さん=GEN 家=GEN 近く-ADJ=LOC=FOC 脇田さん=TOP いる-NEG-PST-YNQ
 名島さんの家の近くに脇田さんはいなかった？
- (3) kawakamisaN=ga uri at-i at-i=du u-N
 川上さん=NOM それ 知る-SEQ ある-SEQ=FOC いる-IND
 川上さんがそれを知っている (だろう)。

3. データと分析

2012 年～2020 年に収集した自然談話資料 (1 時間 40 分) を分析する。データ規模は、異なり語数：4264, 延べ語数：8779, 文節数：1023 である。談話のジャンルは、独話：735 文節、会話：288 文節で

¹ 現代でも島内の他集落では ga 結び形が確認されている (van der Lubbe and Tokunaga

² 国頭方言は連体形が-nu、終止形が-N、結び形が-ru であり、区別されている

³ 略号：ADD (付加)、ADJ (形容詞)、ADN (連体)、CON (条件)、COP (コピュラ)、EPI (認識)、FIL (フィラー)、FOC (焦点)、GEN (属格)、LOC (場所格)、MSB (結び形)、NEG (否定)、NOM (主格)、NPST (非過去)、POL (丁寧)、PST (過去)、Q (疑問)、QT (引用)、SEQ (継起)、SFP (終助詞)、SG (単数)、TOP (主題)、YNQ (肯否疑問)、1 (1 人称)、2 (2 人称)、3 (3 人称)、<> (コードスイッチ)

ある。話者は TI (1919 女)、MF (1931 女)、YK (1933 男)、SK (1933 女)、TK (1943 男)、TN (1947 男)、MS (1951 女)、TT (1952 女) である。

3-1. 結果の概観

1023 の文節のうち、焦点助詞=ga が現れたのは 4 文節、焦点助詞=du が現れたのは 129 文節、結び形-ru が現れたのは 27 文節であった。このうち焦点助詞=ga と結び形-ru が共起したのは 3 文節、焦点助詞=du と結び形-ru が共起したのは 16 文節、焦点助詞がなく結び形が現れたのは 8 文節であった。これらの用例から分かる通り、焦点助詞と結び形に 1 対 1 の呼応関係はない。なお、分析に用いたデータは本稿末 URL から閲覧することが出来る。

表 1. 焦点助詞と結び形の出現数 (単位：文節)

文末形式\焦点助詞	=ga	=du	なし	合計
-ru (結び形)	3	16	8	27
-ru 以外	1	113	882	996
合計	4	129	890	1023

3-2. 出現環境の整理

それでは、それぞれの形式はどのような環境で現れるのか？各形式の出現環境を、(a)文のタイプ、(b)節のタイプ、(c) 焦点タイプの 3つの側面から整理する。

文タイプは、平叙文と疑問文に大別し、疑問文を、疑問詞が入る疑問詞疑問文と、それ以外の非疑問詞疑問文に分類する⁴。節は、主節、連体節、副詞節、引用節、に分類する。焦点タイプについて、焦点は「聞き手の前提にない新情報」を担うが、この「新情報」が聞き手の前提を覆すものや、他から卓立されたり限定されたものとして提示されるとき、その焦点を「対比焦点」と呼ぶ。一方で、新情報が単に聞き手の前提にない情報として提示されるとき、その焦点を「情報焦点」と呼ぶ。情報焦点を更に、疑問詞に焦点がある「WH 焦点」と、それ以外の情報焦点に分類する。これらの分類方法を表 2 にまとめる。

表 2. 本稿における分類

文のタイプ	平叙文	疑問詞疑問文	非疑問詞疑問文	
節	主節	連体節	副詞節	引用節
焦点タイプ	対比・とりたて焦点	WH 焦点	情報焦点	

3-2-1. du の出現環境

du が現れる 129 文は、平叙文が 105 例、非疑問詞疑問文が 15 例(2)、疑問詞疑問文が 3 例 (ただし、そのうち 1 例は du が従属節に現れる例) であった。例外はあるものの、これまで指摘されてきたように、du は主に平叙文と非疑問詞疑問文に現れる形式だと考えられる。節はすべてのタイプの節で現れて

⁴ 命令文は自然談話に現れなかったため、今回の分類には含めない。

おり、制限がないようである。焦点タイプは、ほとんどが情報焦点(4)と対比焦点(5)で、WH 焦点は疑問詞疑問文の 2 例のみであった(6)。

- (4) iku-sa na-ru=tu taa-cji oocj-i=du wacja cjiko-juta-N=dja
 小さい-ADJ なる-COND=COND 2-つ 合わせる-SEQ=FOC 1PL 使う-PST2-IND=SFP
 (お尻を拭く葉っぱが) 小さくなると、2つに合わせて、私たちは使っていたよ。

- (5) cjikara=nu a-nu Maa-Ncja=du cjina=cji ic-ju-ru
 力=NOM ある-ADN 馬-PL=FOC 知名=DIR 行く-NPST-MSB
 (知名は遠いので) 力がある馬たちだけ知名へ行く。

- (6) nama=wa anu… nuu=du at-a-ru
 今=TOP FIL 何=FOC COP-PST-MSB
 (昔は「教育支援の会」といったけど) 今はあの…何だった？

なお、du が平叙文の主節にあり述語が動詞の時、動詞の活用形には結び形(12例)の他に、直説形-N(11例)、詠嘆形-sa(4例)、認識形-mu(3例)があった。直説形の時、強意になり得る終助詞(=gi, =doo)が後続することも、(12)のようにはだかの場合もあった。

- (7) tada cjibara muuru habut-i=du nibu-ju-N
 ただ 着物 全部 かぶる-SEQ=FOC 眠る-NPST-IND
 ただ着物を全部かぶって眠る

3-2-2. ga の出現環境

ga の用例は 4 例と少ないが、例外なく疑問詞疑問文の主節に現れ、焦点タイプは WH 焦点である。-ru と共起した例が 3 例(8)、直説形-N と共起した例が 1 例あった(9)。

- (8) uN=ni=wa aNtaa=wa ai nuu=di=ga Jut-a-ru?
 uN=ni=wa aNtaa=wa ai nuu=di=ga i-jut-a-ru
 それ=LOC=TOP アンター=TOP ではない 何=QT=FOC 言う-PST2-MSB
 それには(方言で)「アンター」ではない(とは言わない)。何と言っていた？

- (9) anu… <sjoowa=ni haitte> icji=ga at-a-N=kaja?
 あの 昭和に 入って いつ=FOC COP-PST-IND=Q
 あの…昭和に入っていたか？

3-2-3. -ru の出現環境

-ru が現れる 27 文は、平叙文が 14 例、疑問詞疑問文が 12 例、非疑問詞疑問文が 1 例(10)あった。例

外はあるものの、主に平叙文と疑問詞疑問文で現れる形式だと考える。節は主節か引用節に現れた。焦点タイプは、疑問詞疑問文の時は WH 焦点であり(11)、平叙文と非疑問詞疑問文の時は、殆どが対比焦点で解釈し得るものであった(12)。なお、-ru が平叙文に現れる時には必ず=du と共起しており、-ru が単独で現れるのは疑問文のみである。

- (10) agaNsji cjura-sa-N cjuu=mu u-ru=kaja=di Muut-i
 あんなに きれい-ADJ-ADN 人=ADD いる-MSB=Q=QT 思う-SEQ
 あんなにきれいな人もいるかな？（いや、いない）と思って
- (11) nuudi agaNsja-nu fui=nu cjik-a-ru=kajaa
 なぜ あんな-ADN 声=NOM 聞く-POT-MSB=Q
 なぜ、あんな声が聞こえるかな？
- (12) ari=wa honojo=nu niNgeN=wa a-ra-N nooka=du a-ru
 ari=wa honojo=nu niNgeN=wa a-ran-N nooka=du a-ru
 3SG=TOP この世=GEN 人間=TOP COP-NEG-IND 何か=FOC COP-MSB
 あれはこの世の人間ではない。何か（別のもの）だ。

3-3. 焦点ドメイについて

焦点ドメインについて、他方言で観察されていることと異なるデータが見られたので紹介する。他方言の先行研究では、=du の機能の1つとして焦点ドメインの左端をマークすることが指摘されているが（Davis 2013、林 2020）、国頭方言はそうとも言えないようである。今回のデータには、主節や従属節に後接して節全体を焦点化する用例が複数あった。

(13) においては連体節 [ご飯を作って食べる] に du が後接して、連体節全体を焦点化している。(14) では継起節 [食べ物の罰をかぶって] に du が後接して、継起節 (テ形節) 全体を焦点化している。このように継起節に接続する例は多数あり、継起節全体が「理由」の意味になることが多い。(15) では引用節 [ウヤクワーになりそうだ] に du が後接して、引用節全体を焦点化している。

こうした点については、単文のみならず複文も分析対象に含みながら、諸方言の比較をしていくことで、厳密な方言差が見えてくると思われる。

- (13) gohaN cukut-i kam-i-nu=du tusji=nu se=nu tuki at-i=jaa
 ご飯 作る-SEQ 食べる-NPST-ADN=FOC 年=GEN 瀬=GEN 時 ある-SEQ=SFP
 ご飯を作って食べる年の瀬（大晦日）の時間があってね
- (14) muN=nu bacji kabut-i haNsji wacja=mu muN deki-ra=ni
 muN=nu bacji kabut-i haNsji wacja=mu muN deki-ran=ni
 食べ物=nom 罰 かぶる-seq そして 1pl=add ご飯 出来る-neg=loc
 「食べ物の罰をかぶったから、私達はご飯が出来なく

nat-a-mu kwa-Ncjaa=dicji
 nat-a-mu kwa-Ncja=dicji
 なる-PST-EPI 子ども-PL=QT
 なったんだよ、子どもたち」と言って

(15) uwasa=nu tac-ju-N tuki=ni=jaa ujakwaa na-i
 噂=NOM 立つ-NPST-ADN 時=LOC=SFP ウヤクワー なる-INF
 噂が立つ時に「ウヤクワーになり

gi-sa-N=djaa=di=du <iwaN>=kaja?
 そう-ADJ-IND=SFP=QT=FOC 言わない=Q
 そうだ」と言わないかな？

4. 結論

国頭方言においては、焦点助詞と結び形に、一方が他方の出現を統制する呼応関係はないと考えられる。自然談話資料において、各形式が現れた文タイプ、節タイプ、焦点タイプを整理すると、表3のようにまとめられる。焦点呼応とは、それぞれの焦点助詞の出現条件と、結び形の出現条件が一致した時に起きる現象だと推測する。なお、焦点ドメインについては他方言で観察されていることと、異なる用例もみられた。今後はエリシテーションを行い、今回の観察の検証を行いたい。

表 3. 焦点標識が出現した環境

	文のタイプ	節のタイプ	焦点タイプ
=ga	疑問詞疑問文	主節	WH 焦点
=du	非疑問詞疑問文 平叙文	あらゆる節	対比焦点 情報焦点
-ru	疑問詞疑問文 平叙文	主節、引用節	対比焦点 WH 焦点

5. 引用文献

- 内間直仁 (1985) 「係り結びのかかりの弱まり: 琉球方言の係り結びを中心に」『沖縄文化研究』11: 223-244.
 占部 由子 (2019) 「南琉球八重山語石垣島大浜方言における焦点標識とモダリティ」日本言語学会第 158 回大会、一橋大学
 かりまたしげひさ(2011) 「琉球方言の焦点化助辞と文の通達的なタイプ」『日本語の研究』7(4):69-82.
 衣畑智秀 (2020) 「文タイプとの呼応からみた係り結びの衰退」NINJAL シンポジウム「係り結びと格の通方言的研究と通時的的研究」
 林由華(2018) 「係り結び現象を生む述語の機能—通方言的な視点から」日本言語学会第 156 回大会、東京大学

林由華(2019)「動詞結び形を持たない方言における係り結び関連現象: 沖縄本島北部津波方言を中心として」
日本方言研究会第108回研究発表会, 大阪大学.

林由華(2020)「概説: 琉球諸方言における係り結び研究の展開」NINJAL シンポジウム「係り結びと格の通
方言的研究と通時的研究」

平山輝男(1986)『奄美方言基礎語彙の研究』821-827. 東京: 角川書店.

横山晶子(2017)「琉球沖永良部島国頭方言の文法」一橋大学博士論文

Davis, Chris. 2013. Surface position and focus domain of the Ryukyuan focus particle 'du': evidence from
Miyara Yaeyaman. *International Journal of Okinawan Studies*.4.1, 29-49.

Shimoji, Michinori (2011) Quasi-Kakarimusubi in Irabu. In W. McClure and M. Den Dikken (Eds.),
Japanese/Korean Linguistics, 18:114–125. CSLI Publications.

Shimoji, Michinori (2018) Information structure, focus, and focus-marking hierarchies in Ryukyuan languages.
Gengo Kenkyu 154: 85–121.

Van der Lubbe, Gijs and Tokunaga, Akiko. 2015. Okinoerabu grammar. In Heinrich, Patrick, Shimoji,
Michinori and Shinsho Miyara(eds.) *Handbook of Ryukyuan Languages*. Berlin: De Gruyter Mouton.

分析データのリンク:

[https://docs.google.com/spreadsheets/d/1HqG3rkaRVwSuZUR70yu1h3ovPYO3LhCKLrqMncmR_Gc/
edit?usp=sharing](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1HqG3rkaRVwSuZUR70yu1h3ovPYO3LhCKLrqMncmR_Gc/edit?usp=sharing)

